

Shimotani

ペレットストーブ 施工要領書

ペレットストーブの設置は本書をお読みの上正しく据え付けてください。

※設置工事上の責任は当社では負いかねます。

※本書で禁止されている設置工事による事故や故障は、補償対象となりません。

この設置工事マニュアルおよび製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



禁止

この記号は「してはいけない」「禁止」事項を告げるものです。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

❗ 設置工事部品は必ず付属部品および弊社指定の部品を使用してください。

指定部品以外の部品を使用された場合、火災や事故の原因となります。

❗ ストーブ及び配管の改造はしないでください。

本書に基づかない設置工事による事故、また、改造などによる事故は当社では一切の責任は負えません。

ペレットストーブ施工要領書

❗ 本施工要領書の内容を理解してください

事前に本書と「ペレットストーブ設置基準」の内容をよく確認して理解の上、正しく施工してください。

❗ 2人以上で施工してください

ストーブ本体の重量はオルコットが90kg、エマーソンとEM-IIが80kgです。必ず2人以上で施工してください。

⚠ 壁に固定するビスを用意してください

壁面金具、及び配管固定金具を壁に固定するビスは付属されていません。施工前に室内側、屋外側の壁の材質に対応するビス、アンカー等を用意してください。

🚫 下記の場合にストーブを設置しないでください

- ・水平でない不安定な場所
- ・可燃物が近くにある場所や可燃性ガスが発生する場所
- ・階段や通路など避難の際に支障となる場所
- ・温室等人がいない場所
- ・マントルピース等のメンテナンスが困難な場所

❗ 下記の場合に給排気筒を施工しないでください

- ・床下、天井裏への配管や屋内へ排気する配管
- ・入り隅や強風が吹き付ける壁面や積雪等で排気が閉塞する場所への排気
- ・付近に可燃物がある場所への排気
- ・隣家に隣接する場所への排気

必要な工具

- ・床、壁、柱の養生用のシート、マット等
- ・電動ドリル、振動ドリル等の穴あけ工具
- ・155～160φの穴が開けられるホールソー、センタードリル
(※内壁、外壁の材質に適合したホールソーを使用してください)
- ・防水用コーキング、コーキングガン、マスキングテープ
- ・水平器等の水平・垂直のレベルを確認できる工具
- ・掃除機、集塵機等の掃除用具
- ・プラスドライバー(2番ドライバーで柄の長い物と短い物)
- ・カッターナイフ
- ・壁の材質に合わせたビス、アンカー等と対応するドリル刃

防水用コーキング材は、JIS規格に準拠した屋外用のコーキング材を使用してください。

※ハウスメーカー様や工務店様より防水用のシーリングに関して指定がある場合は、指定のコーキング材を使用してください。

ペレットストーブ施工要領書

①壁貫通工事

壁貫通部と壁面金具の固定穴の墨出し

ストーブ本体を設置予定場所に仮置きし、設置位置と給排気筒を通す壁貫通部の位置を確認します。給排気筒が屋外のエアコンの室外機等に干渉しないかを確認してください。また壁貫通部に柱、間柱、筋違がないかも確認してください。

※柱や筋違等は建築図面や工務店様やハウスメーカー様等に確認し、干渉しない場所にストーブを設置してください。

❌ 柱、間柱、筋違を切り欠いて給排気筒を通す施工は絶対にしないでください。

巻末の本体寸法を参考にストーブ本体と周囲の離隔距離と壁貫通の穴位置を確認してください。コーナー設置の場合は、必要な給排気筒を本体に仮接続してください。ストーブの設置位置が決まったら、壁貫通部の穴の中心と壁面金具の固定用の穴をけがきます。ストーブ本体は作業に支障のない場所に移動してください。

壁貫通部の穴開け工事

作業の前に床を養生してください。

155～160φのホールソーなどで壁に穴を開けます。

壁の厚みに合わせて耐火筒を切断して貫通部にはめ込みます。内側に断熱材がある場合、耐火筒が通る個所のみ除けてください。



②壁貫通部の給排気筒の施工とストーブ本体の取付

壁面金具(室内側)の固定

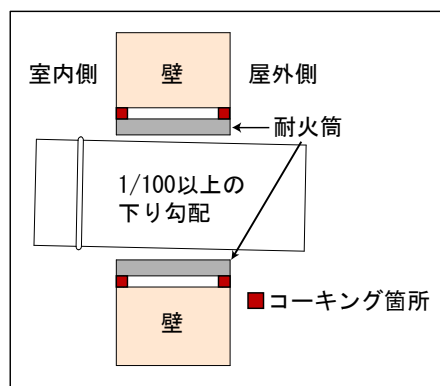
室内側の壁面金具(固定バンド付き)に壁貫通部の給排気筒を室内側から通してから耐火筒内部に通してください。



屋外側で十字管またはT字管を仮接続し、外壁～配管までの距離が配管固定金具の調整範囲内であることを確認してください。

⚠️ 配管は屋外に向かって下り勾配をつけてください。

室内側の壁面金具の位置と墨出しが終わったら耐火筒と壁貫通部の隙間をコーキングしてから壁面金具を固定してください。



ペレットストーブ施工要領書

②壁貫通部の給排気筒の施工とストーブ本体の取付

配管には向きがあります。配管ロックが付いている方がストーブ側で、屋外に向かって接続する管が被さります。写真を参考にして向きを間違えないように施工して下さい。また接続する際、Oリングが外れないように注意してください。

⚠️ Oリングが外れたまま接続すると排気が給排気筒から煙が漏れ出します。

※コーキングが壁や給排気筒に付着しないよう注意して下さい。
※壁面金具に給排気筒を通す際、養生テープ等で仮固定しておく
配管のキズ防止になります。

壁貫通部付近の清掃

ストーブ本体を給排気筒に接続する前に壁貫通部付近を清掃してください。床に養生がしてある場合は、ストーブ本体の設置に必要な個所のみ養生を除けてください。

給排気筒にストーブ本体を接続

ストーブ本体を給排気筒に接続して給排気筒が奥まで挿し込まれていることを確認してください。ストーブ本体の設置位置が決まったら壁面金具の固定バンドを締めて配管を固定してください。

③屋外の給排気筒の取付

壁貫通部の仕上げと壁面金具の固定

外壁と耐火筒の隙間の気密処理(コーキング)の前に屋外側の壁面金具(固定用バンドなし)の墨出しと外壁～配管の離隔が配管固定金具の調整可能範囲かを確認して横引きの配管を調整してください。

必要であれば壁面金具と配管固定金具の下穴あけやアンカー打ち等の作業を行ってください。

壁面金具の墨出しと配管の調整が完了後、外壁と耐火筒との隙間をコーキングしてから壁面金具を外壁に固定してください。

※先にコーキングを行うとコーキング材が部材や外壁などに付着したり作業中にコーキングが切れて隙間ができる事があります。

⚠️ 壁面金具と配管固定金具は外壁の材質に適合したビス、アンカー等を使用して確実に固定して下さい。



ペレットストーブ施工要領書

③屋外の給排気筒の取付

配管の接続

十字管または屋外用T字管、直管の順に下から順に取付けます。配管は垂直になるように水準器等で確認してください。配管固定金具は、直管の上の部分(複数の配管の場合は上の配管)で固定します。この時点で配管固定金具の位置決めと固定穴の墨出しを行ってください。

配管固定金具を取付後、排気筒の先端部分の配管をエルボ90°、エルボ45°、防鳥トップの順に取り付けます。



④試運転

⚠️ 試運転を行い本体と給排気筒が確実に接続されているか確認してください

ストーブの運転が可能であれば試運転を行い、着火から消火までの一連の動作を確認してください。この際、ストーブの本体背面と給排気筒の接続部分から煙が漏れていないかを確認してください。

試運転が出来ない場合は、ストーブ本体と給排気筒の接続部分が奥まで入り込んでいるか、確実にロックされているかを目視で確認してください。

※ストーブを初めて運転する際は塗装の成分が抜けるため、室内に塗料の煙やにおいが出ます。試運転を行う際は換気を行ってください。化学物質過敏症など事前の配慮が必要な場合は、施工前に屋外など風通しのよい場所で匂い抜きを行ってください。

⑤防水処理

⚠️ 外壁と壁面金具、給排気筒の隙間を防水処理をしてください。

作業の前に壁面金具や給排気筒の清掃を行い水分や油分、ゴミ、ホコリ等を除去してください。

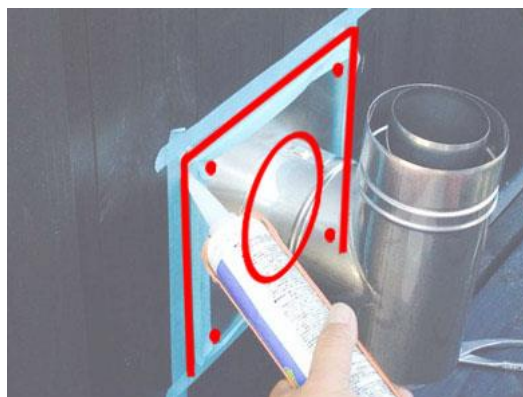
外壁の材質によってはプライマー等の下地処理が必要な場合があります。

写真の赤色の個所をコーキングしてください。

※マスキングテープを使用してコーキングが周囲にはみ出さないようにしてください。

※コーキングは穴や隙間のないようにしてください。

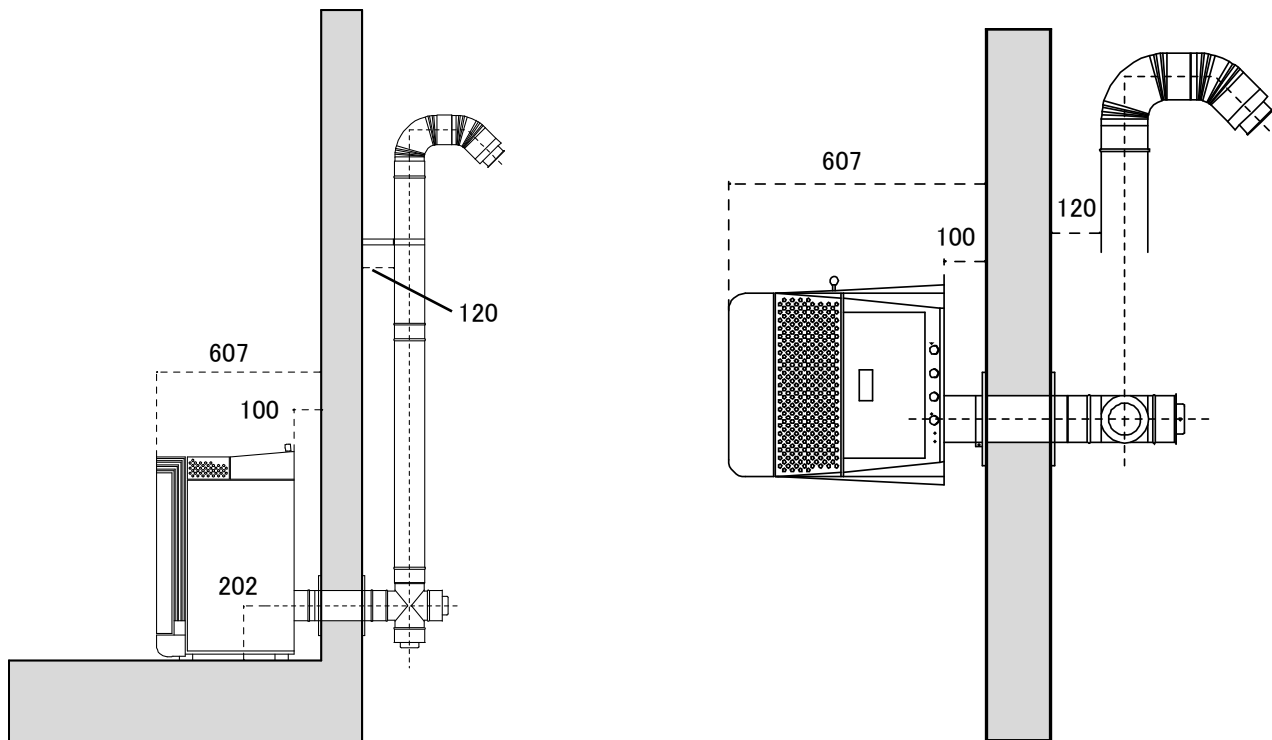
※完全に乾くまでコーキングに触れないようにお施主様や現場のご担当者様に申し入れてください。



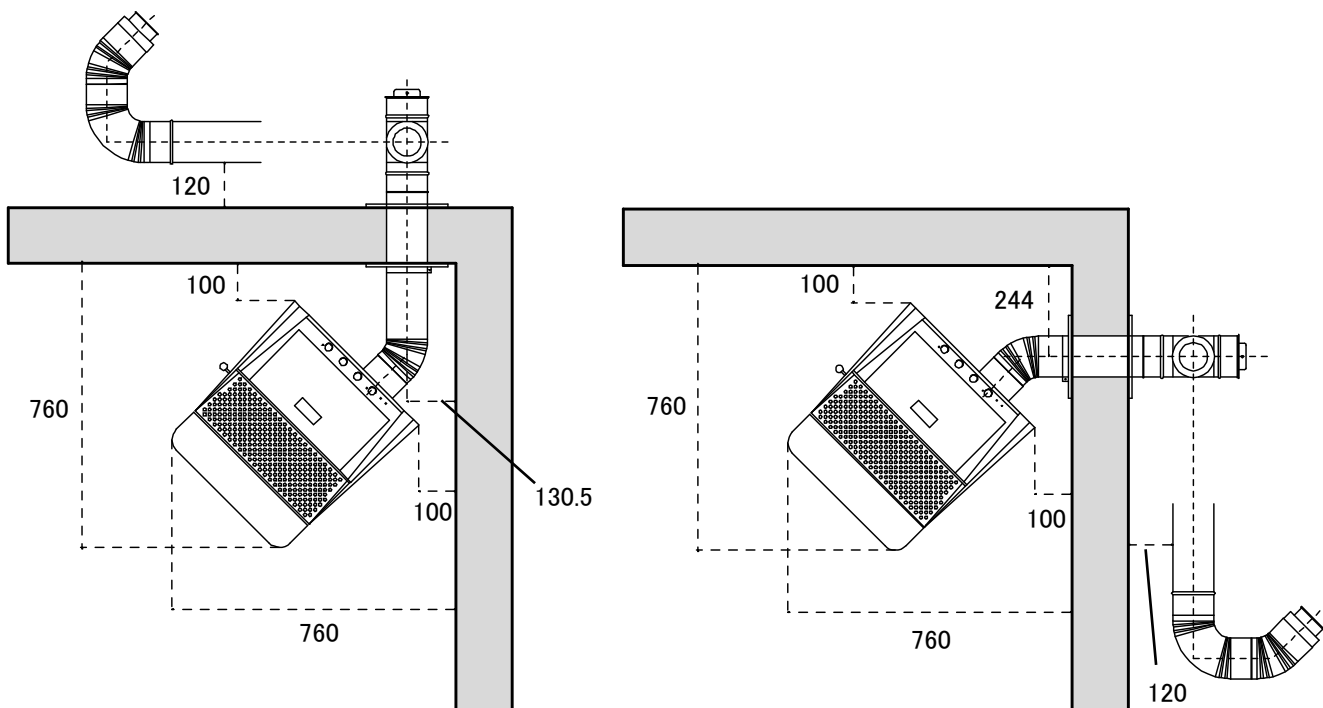
乾くまでの時間はコーキング剤や気温、湿度などによって異なりますが、概ね夏場で1~2日、冬場で2~4日程です。

ペレットストーブ施工要領書

ALCOTT 設置参考図 平行設置



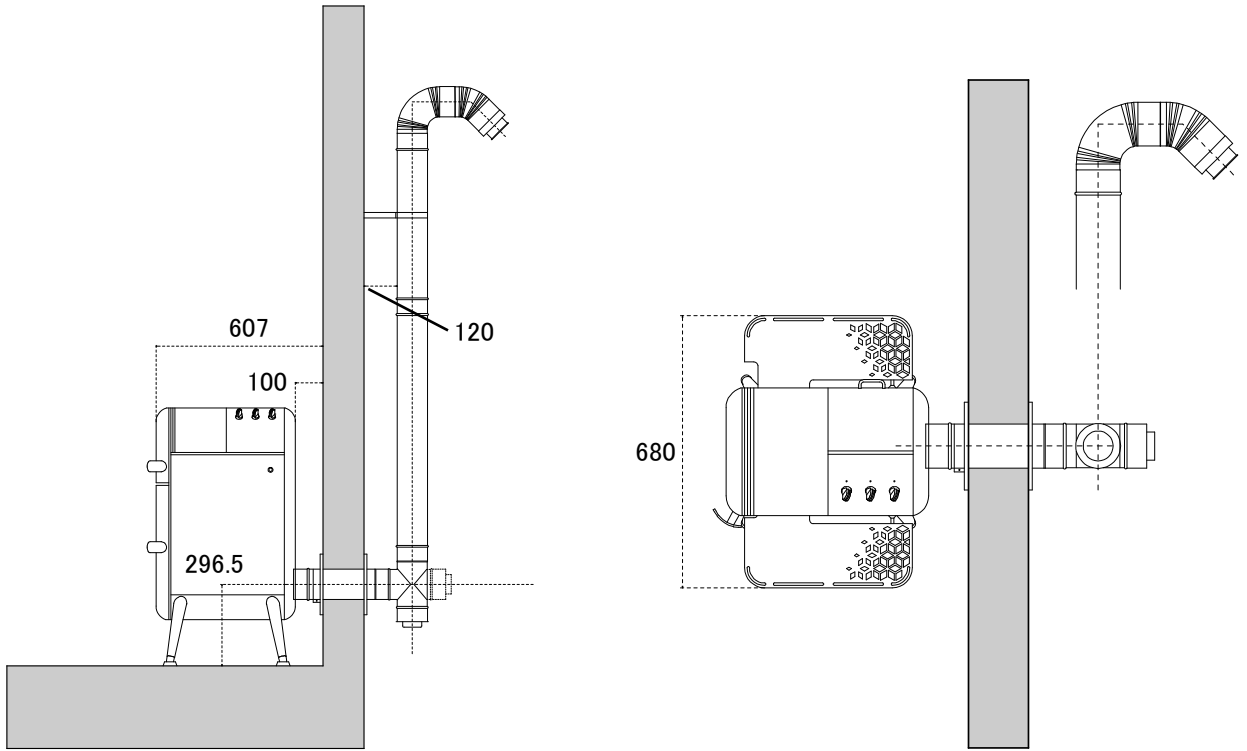
ALCOTT 設置参考図 コーナー設置



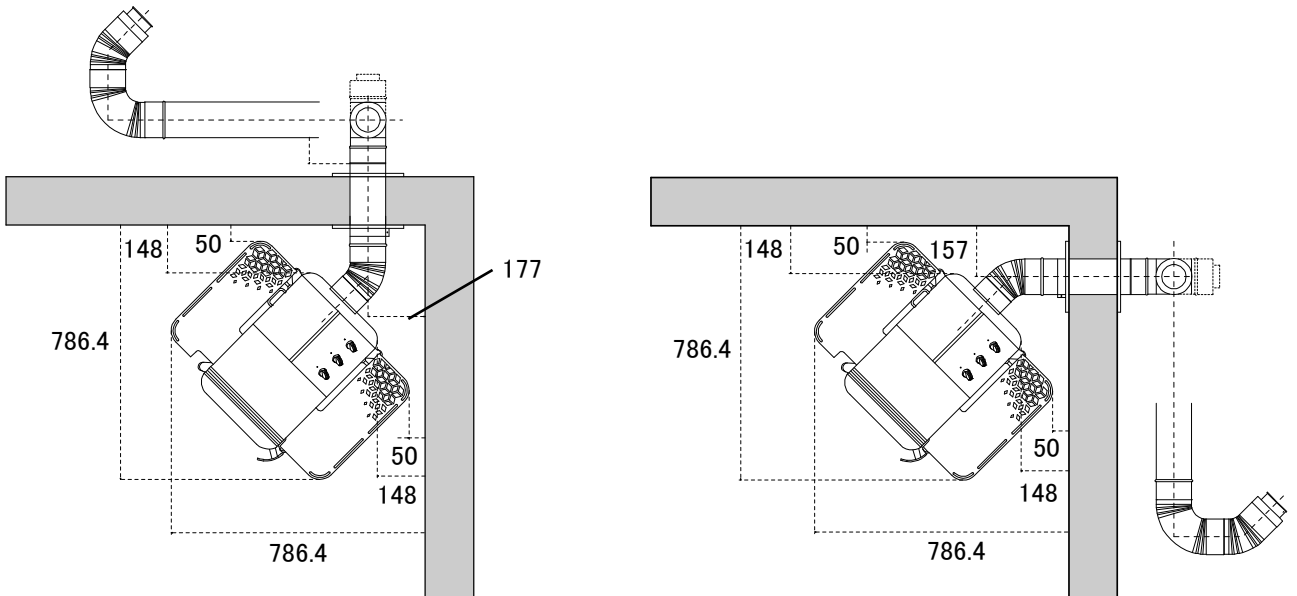
ペレットストーブ施工要領書

May 設置参考図 平行設置

MayのFL(ストーブ設置面)～給排気筒芯の寸法は、付属する床保護用の部品を含みます。この保護用の部品を使用しない時は、約5mm下がります。



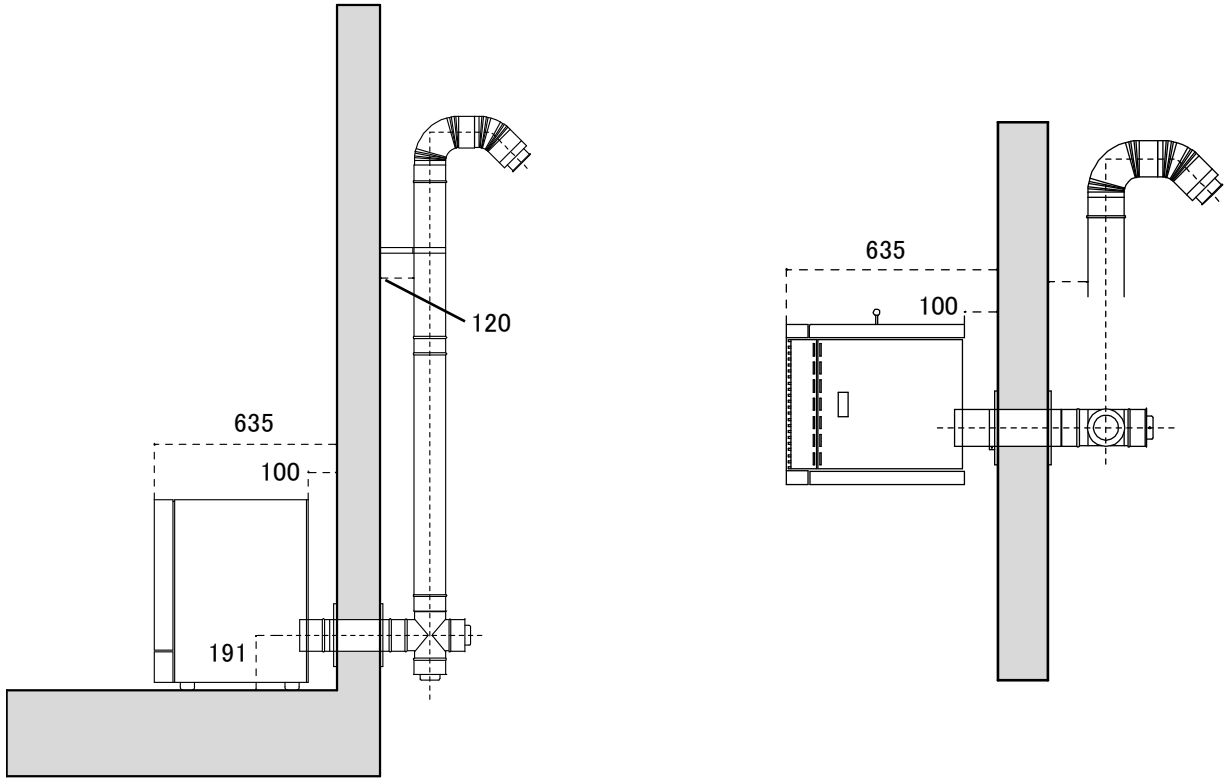
May 設置参考図 コーナー設置



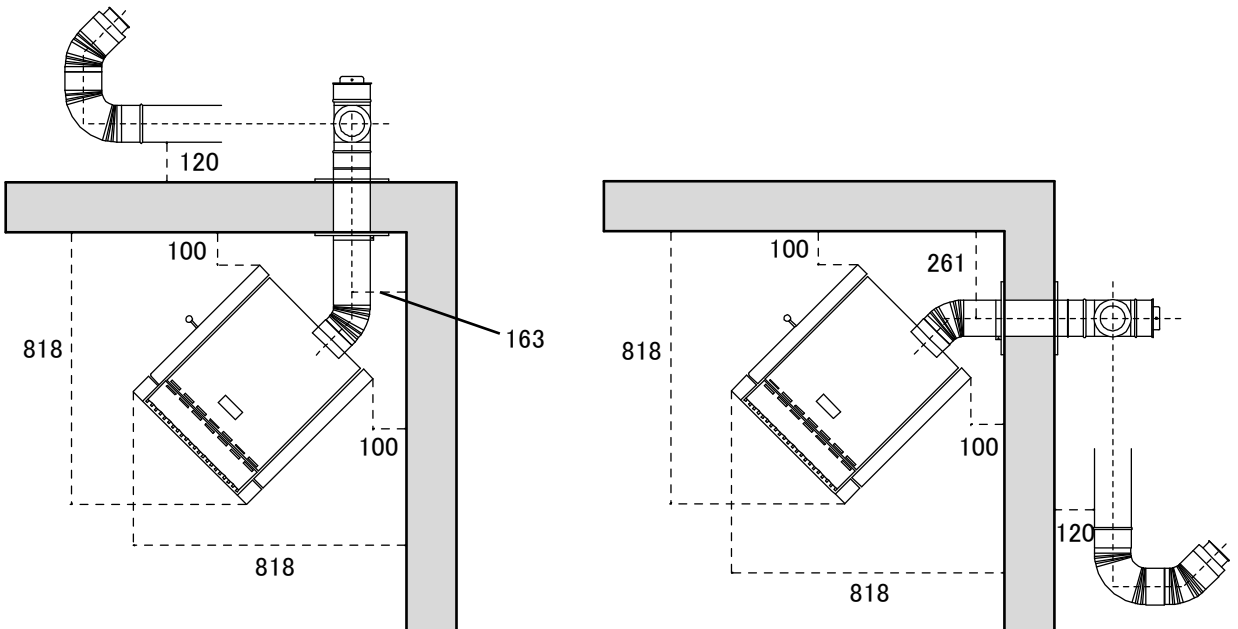
ペレットストーブ施工要領書

EMERSON、EM-II 設置参考図 平行設置

EMERSONとEM-IIは、給排気筒がバックパネルから約25mmストーブ内部に入り込みますが、2～3mm程度の誤差があります。

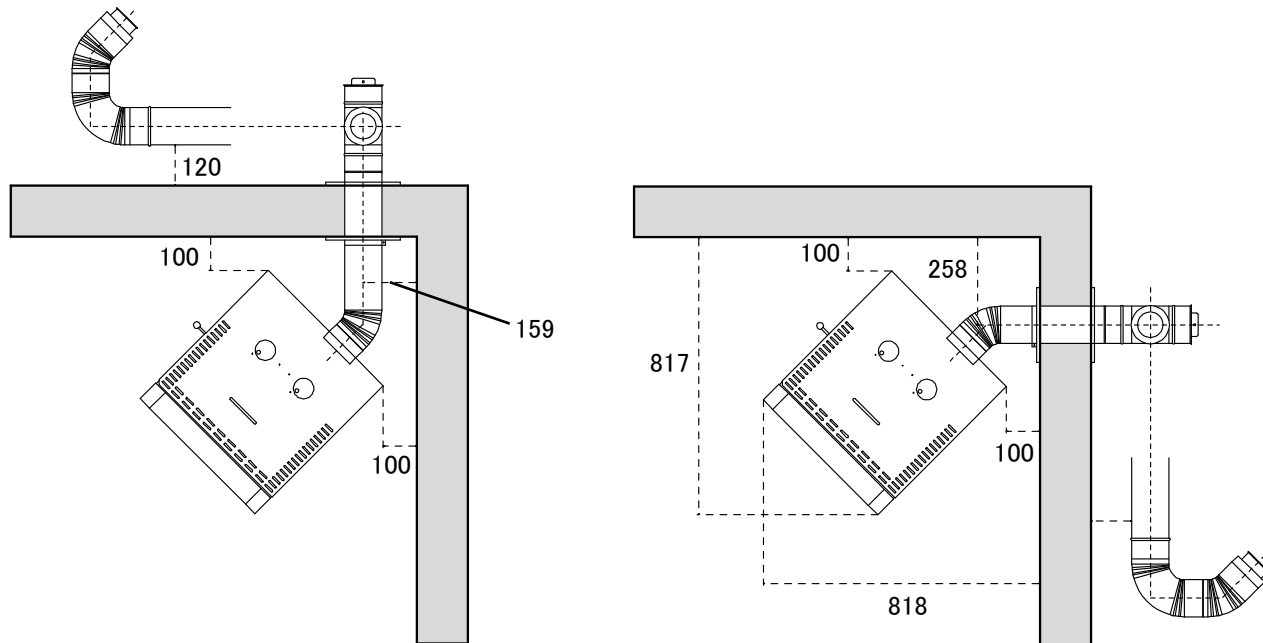


EMERSON 設置参考図 コーナー設置



ペレットストーブ施工要領書

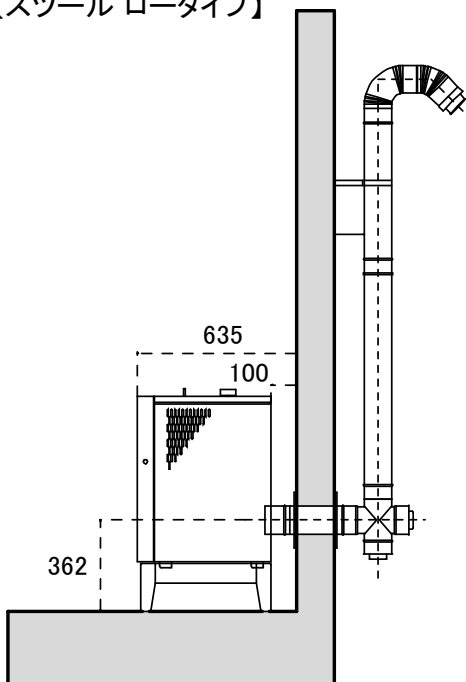
EM-II 設置参考図 コーナー設置



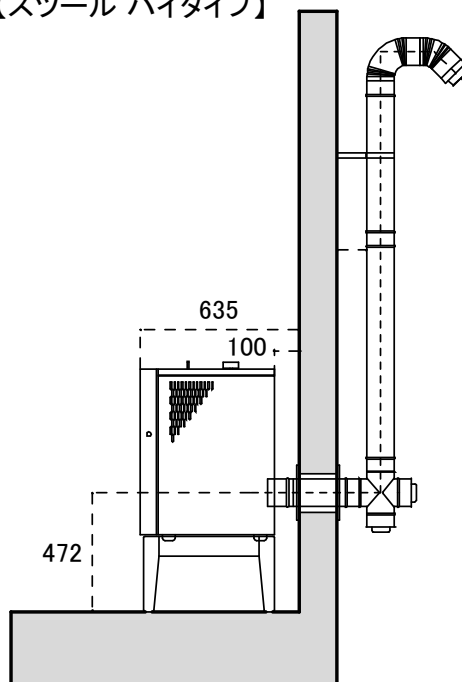
EMERSON、EM-II 設置参考図 ツール

ツールは、EMERSONとEM-II 専用です。ロータイプで約190mm、ハイタイプで約300mmかさ上げできます。ストーブ設置面は、ツール天端から約19mm下がります。

【ツール ロータイプ】



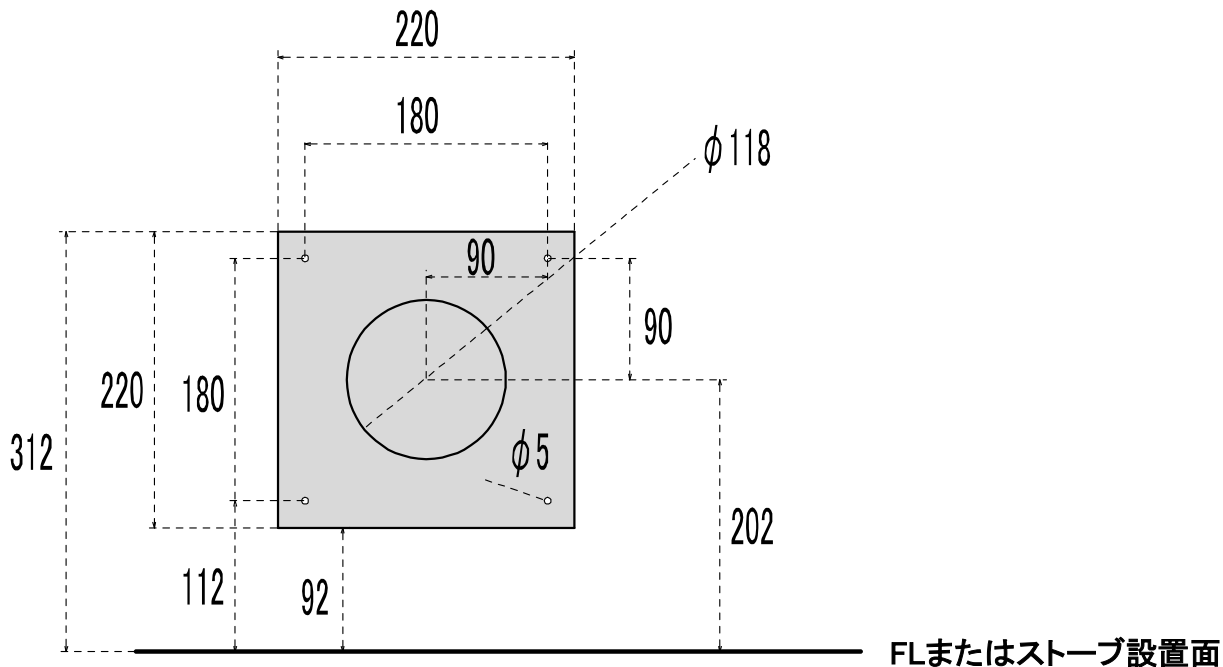
【ツール ハイタイプ】



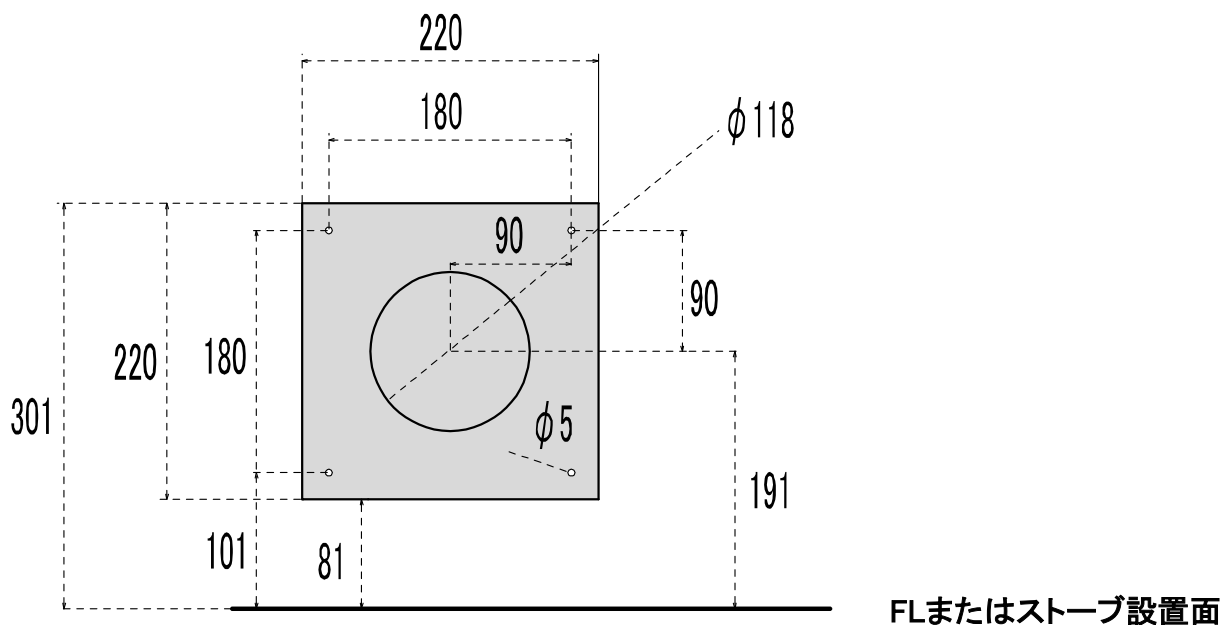
ペレットストーブ施工要領書

ALCOTT 壁面金具 寸法図

フロアプレートや造作の床等の上にストーブを設置される場合は、FLにかさ上げ分を足した寸法で墨だしを行ってください。



EMERSON、EM-II 壁面金具 寸法図



ペレットストーブ施工要領書

May 壁面金具 寸法図

フロアプレートや造作の床等の上にストーブを設置される場合は、FLにかさ上げ分を足した寸法で墨だしを行ってください。

